



The Dream of Chemistry In Your Life.

住友化学
CORPORATE PROFILE



創業

1913年

海外拠点数

75 拠点

(2023年4月現在)

連結子会社数

203 社

(2023年3月31日時点)

連結従業員数

33,572 人

(2023年3月31日時点)

連結売上収益

28,953 億円

(2023年3月期)

特許保有件数

14,428 件

(2023年3月31日時点)

経営理念

- ◆ 技術を基盤とした新しい価値の創造に常に挑戦します。
- ◆ 事業活動を通じて人類社会の発展に貢献します。
- ◆ 活力にあふれ社会から信頼される企業風土を醸成します。

Business Philosophy

Profile

私たち住友化学は、1913年、別子銅山（現在の愛媛県新居浜市）で行われていた住友の銅製錬事業において生じた煙害を解決するために、原因となる銅鉱石中の硫黄分を取り出し、それを原料に肥料を製造する「住友肥料製造所」としてスタートしました。

「環境問題の克服」と「農業振興への貢献」を共に目指して設立された当社は、社会の信頼に応えることを最も大切にするという住友の事業精神と、「自利利他 公私一如」、すなわち「自身を利するとともに事業を通じて広く社会に貢献していく」という考え方を、創業以来脈々と受け継いできました。この理念の下、当社は、時代の要請に応え、多様な事業を展開し、絶えざる技術革新で、人々の豊かな暮らしを支えています。

豊かな明日を支える 創造的ハイブリッド・ケミストリー

住友化学の強み

Core competence

CORE
COMPETENCE

1

幅広い技術基盤を生かした

**ソリューション
開発力**

⇒ P.6-7

CORE
COMPETENCE

2

**グローバル市場への
アクセス**

⇒ P.10-11

CORE
COMPETENCE

3

**エンゲージメントの
高い多様な人材**

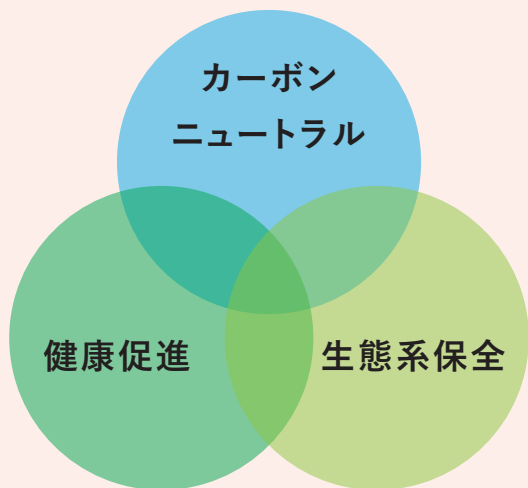
⇒ P.12-13

住友化学は経営理念の下に培ってきた「幅広い技術基盤を生かしたソリューション開発力」「グローバル市場へのアクセス」「エンゲージメントの高い多様な人材」の3つをコア・コンピタンスと認識しています。これらを最大限に生かし、環境問題や食糧問題をはじめとする社会課題の解決に全力で挑んでいます。

広義のグリーントランスフォーメーション(GX)の視点から 事業を通じて社会課題の解決に貢献

住友化学が 目指すGX

⇒ P.8-9



住友化学が解決に取り組む 社会課題

環境



地球環境回復、
人と自然が共生する世界の実現

エッセンシャルケミカルズ部門

エネルギー・機能材料部門

食糧



食糧の安定確保と
環境との調和の実現

健康・農業関連事業部門

ヘルスケア



世界中の人々の
健康的な生活の確保

健康・農業関連事業部門

医薬品部門

ICT



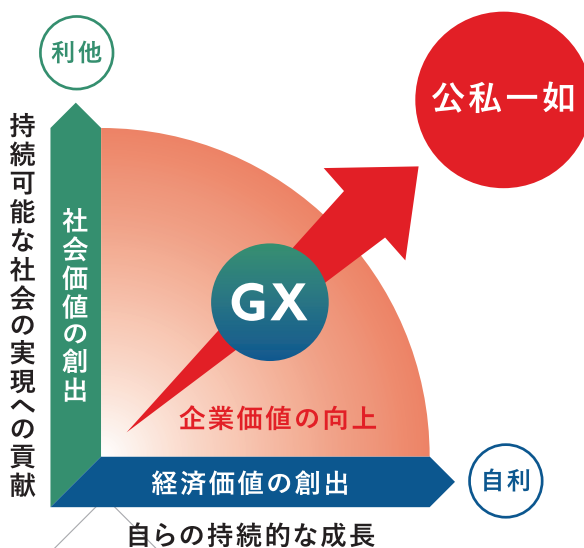
ICTを活用した
包摂的な社会の実現

情報電子化学部門

ソリューションの 提供

経済価値、
社会価値を共に創出し、
住友化学グループの
持続的な成長と
サステナブルな
社会を実現

「自利利他 公私一如」による 企業価値向上のイメージ



CORE
COMPETENCE

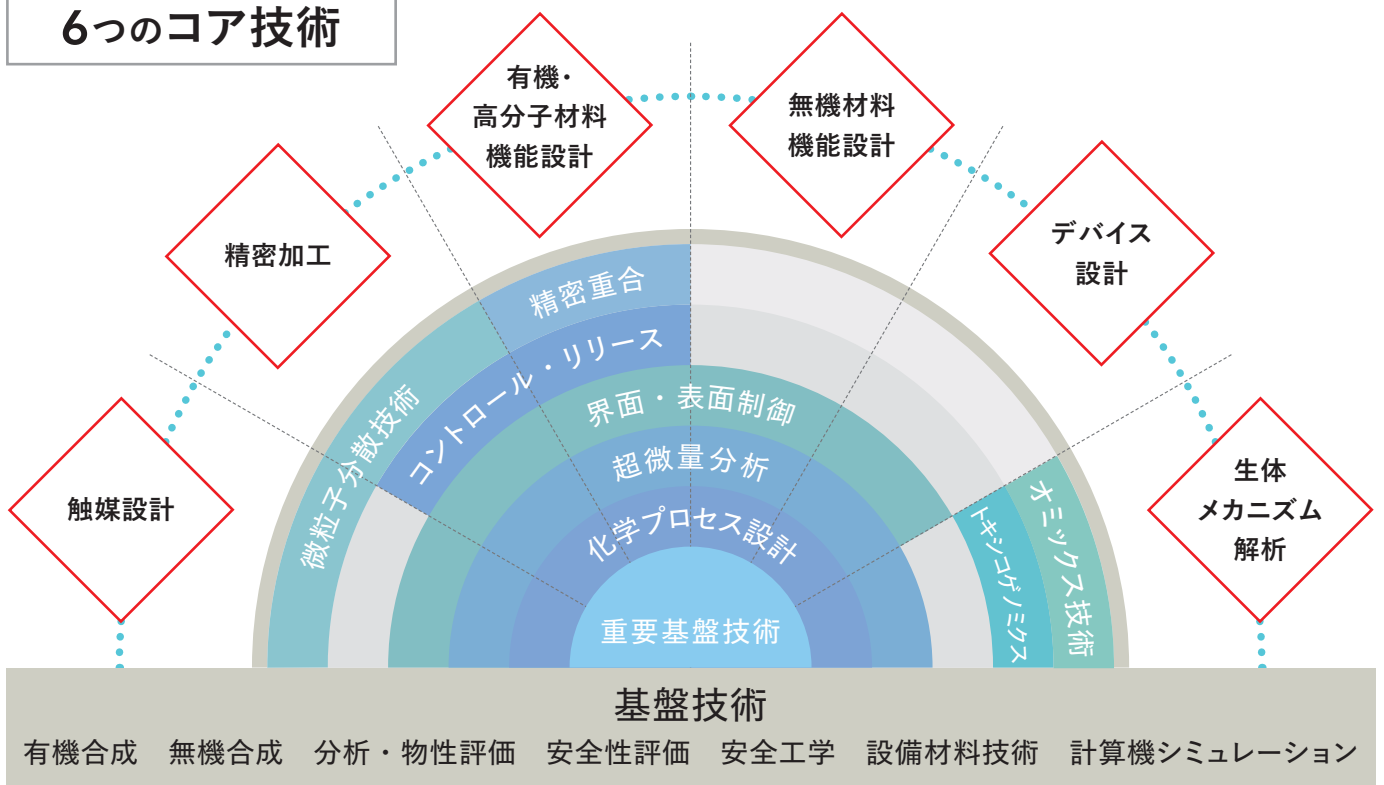
1

幅広い技術基盤を生かした

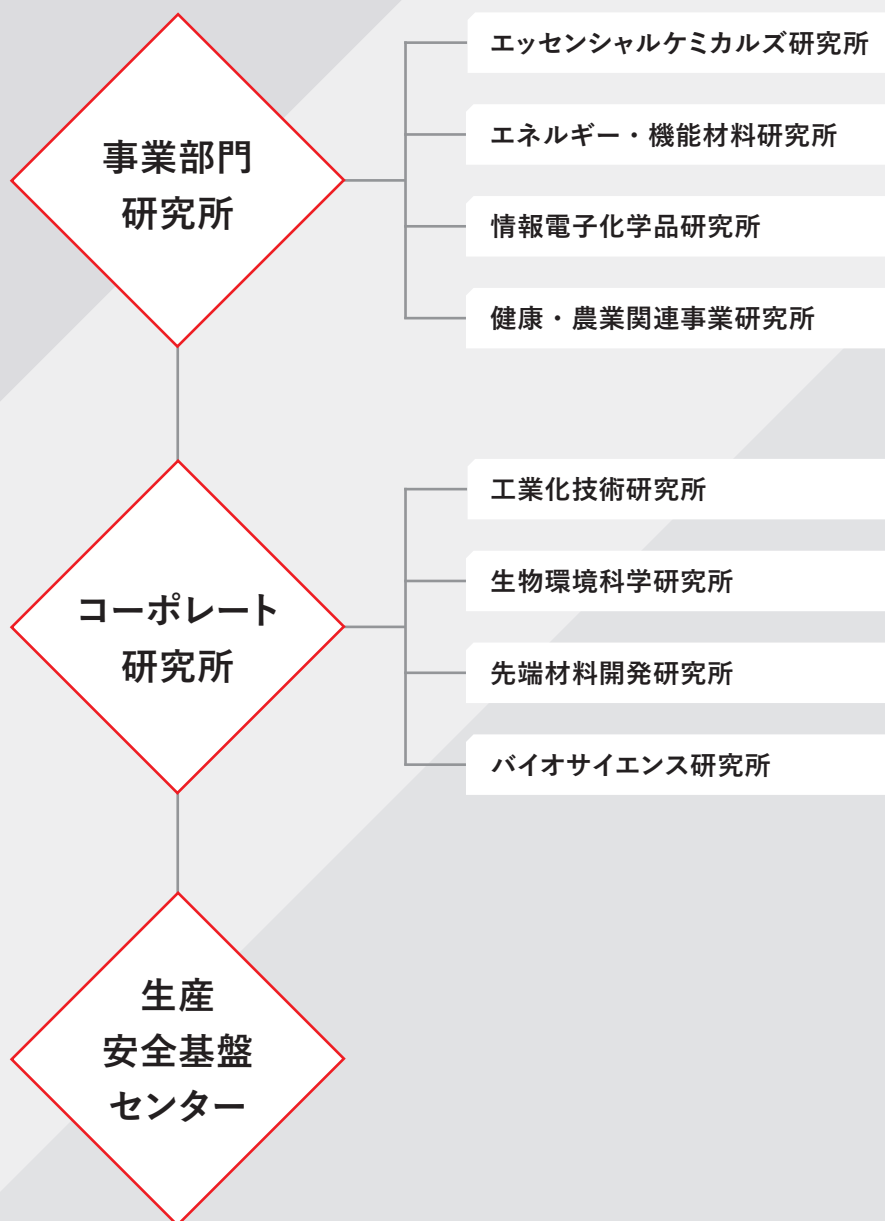
ソリューション開発力

長年にわたる広範な研究活動を通じて培った「6つのコア技術」。
住友化学の基本戦略は、これら6つのコア技術の深化と基盤
技術の充実を図ること。さらに、異分野技術との融合で、
高付加価値の製品や技術を創出することです。

6つのコア技術



研究開発体制



健康・農業関連事業研究所
温室内での薬剤評価試験



先端材料開発研究所
高分子有機 EL のデバイス試作評価

住友化学の研究開発体制は、事業部門研究所とコーポレート研究所、生産安全基盤センターから成り立っています。事業部門研究所では、製造・販売と一体となって、事業活動の維持・強化・拡大に資する製品や基幹・要素技術の研究開発を行っています。一方、コーポレート研究所では、新規事業分野へ進出するための技術開発、コア事業継続にとって競争優位をもたらす共通基盤技術の開発、次世代製品・プロセス開発に関わる長期テーマ等に取り組んでいます。また、生産安全基盤センターでは、保安・防災力や工場の競争力強化を目指した研究開発を進めるとともに、生産部門の支援活動も積極的に行っています。

住友化学のカーボンニュートラル グランドデザインを策定

住友化学は、**2050年カーボンニュートラル実現**を目指します。

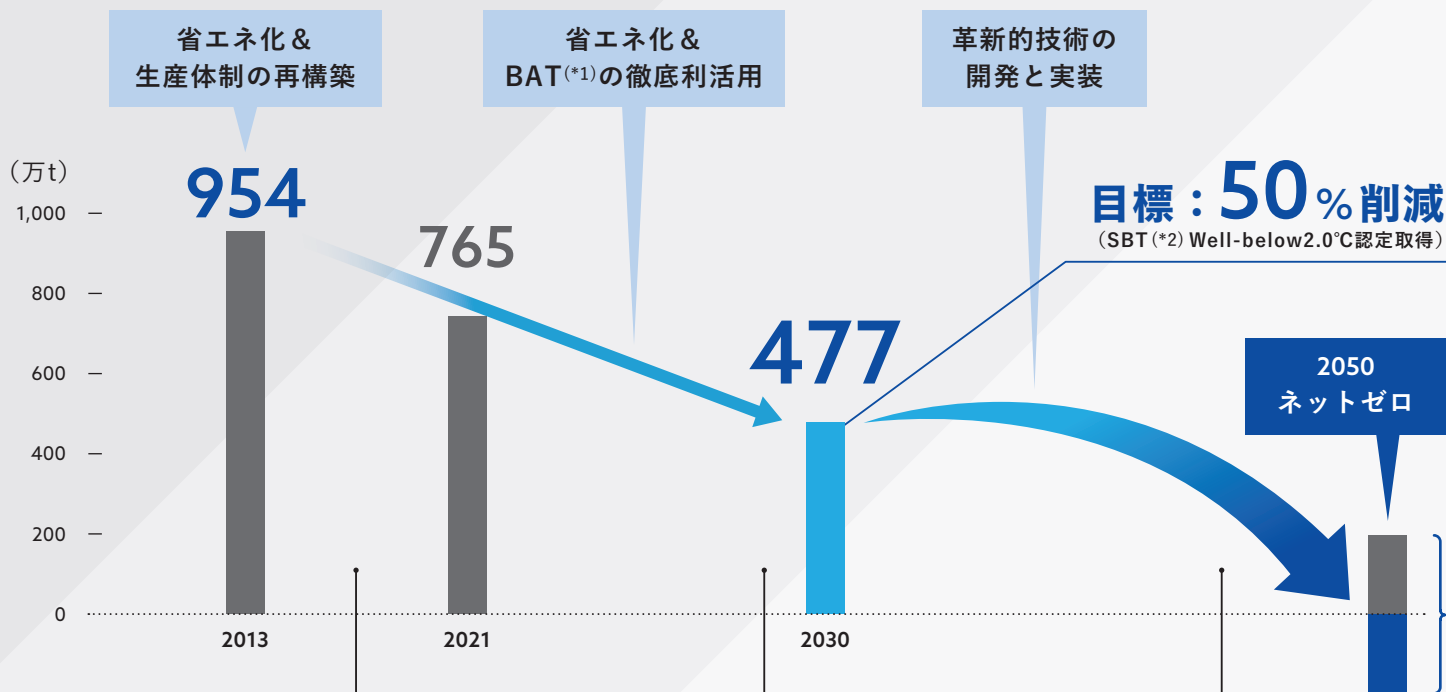
“住友化学グループらしい”カーボンニュートラルに向けた取り組みを

責務 と **貢献** の両面から推進

責務

住友化学グループのGHG排出量をゼロに近づける

住友化学グループとして、**温室効果ガス(GHG)排出量を2030年度までに50%削減(2013年度比)を目指す**



これまで

- 千葉工場・愛媛工場の競争力強化・再構築
- 科学的根拠に基づいた目標設定 (SBT認定)

2020～2030年

- 愛媛工場でのLNG発電所運転開始
- 千葉工場での高効率なガスタービン発電設備(建設中)
- 省エネ・合理化に加え、燃料転換・BAT最大活用によりGHGの削減を加速

2030～2050年

- CO₂フリーエネルギーへの転換
- プラントの電化、革新的製造プロセス技術の開発と早期実装
- 炭素資源循環(マテリアル・ケミカルリサイクル)技術の実装
- カーボンネガティブ技術、CCU(*3)技術の開発

*1 Best Available Technologies
*2 Science Based Targets
*3 Carbon Capture & Utilization

貢献

住友化学グループの
製品・技術を通じた
世界のGHG削減

さまざまなステークホルダーと連携し、
世界のGHG削減に貢献する製品・技術の
いち早い社会実装を実現

3つの視点

1 カーボンニュートラルに貢献する
製品やソリューションを提供

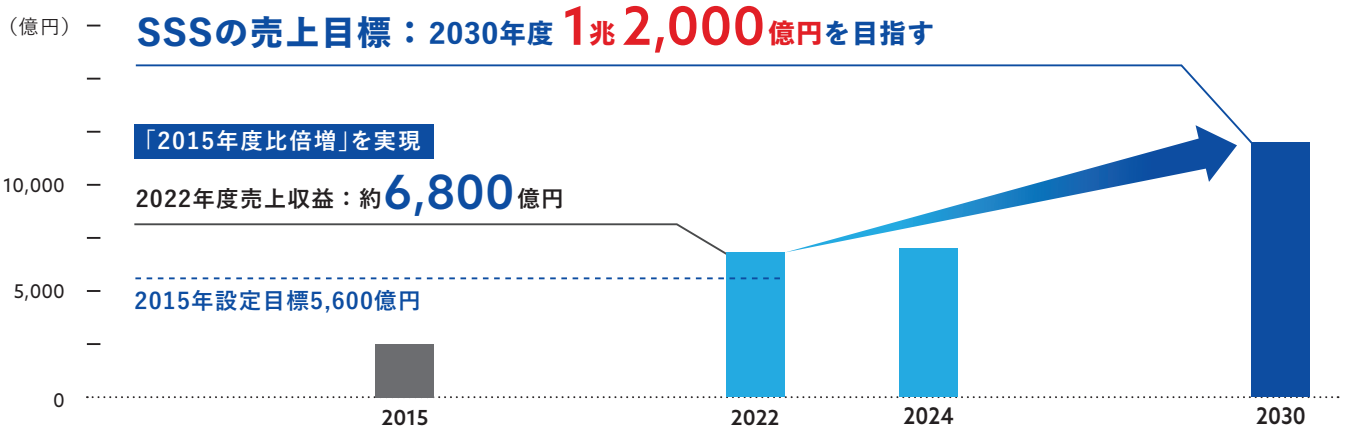
2 カーボンニュートラルに資する
技術の開発と早期社会実装を牽引

3 カーボンネガティブ技術の開発など
長期的な課題にも挑戦

事業を通じた貢献

Sumika Sustainable Solutions (SSS)*

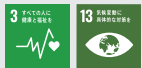
*温暖化対策、環境負荷低減などに貢献する
製品・技術を認定し、その開発や普及を促進
する取り組み



SSS 認定技術・製品の例

気候変動対応

ベクターコントロール殺虫剤
感染症媒介昆虫の防除に大きな
役割を果たすとともに、気候変動
による影響への適応に貢献。



環境負荷低減

ハロゲンフリー難燃エラストマー
鉄道および建築材料等に用いられる
部材で、ハロゲン系難燃剤を使用せず
に同等の難燃性を達成。また、燃焼時
における有害ガスの排出抑制に貢献。



資源有効活用

基材レスタッチセンサー

従来のタッチセンサーでは必須であったガラスやフ
ィルムなどの基材を使用せずとも、タッチセンサーの機
能を十分に発揮させることが可能。省資源化に貢献。



基材が不要になることで容易に曲げられ
るため、ベゼルレスやフレキシブルタイ
プのディスプレイに適用することができます

従来のタッチセンサー



基材レスタッチセンサー



バイオリショナル製品（微生物農薬、植物成長調整剤、 根圏微生物資材）

天然物由来などの有効成分を
利用。持続可能な農業の推進
や、安全・安心な農作物の安定
供給に貢献。



独自の製品カーボンフットプリント(CFP)自動計算ツール

CFP-TOMO®

- CFP(製品別のライフサイクルGHG排出量)を、誰でも簡単に計算できるツール「CFP-TOMO®」を独自に開発
- 当社製品約20,000品目のCFP評価を完了し、グループ会社主要製品にも展開
- 他社へ無償提供することにより、社会全体でのGHG排出量の可視化と削減に貢献 ※(一社)日本化学工業協会との連携を開始



CORE
COMPETENCE

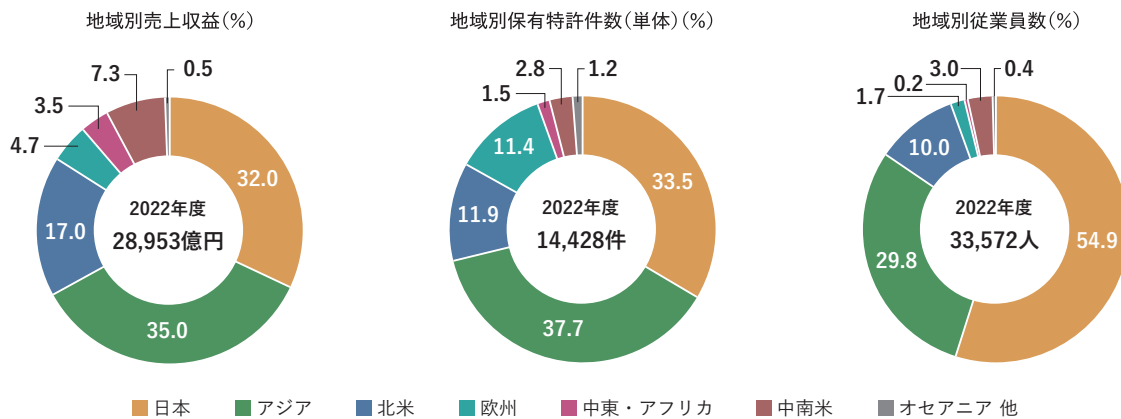
2

グローバル市場へのアクセス

世界経済や社会の枠組みの変化に対応するため、住友化学はすべての事業で積極的なグローバル化を進めました。私たちはこれからも自社のソリューションをグローバルに提供し、新たな価値を創造していきます。



地域別情報



サウジアラビア
Rabigh Refining and Petrochemical Company



韓国
SSLM Co.,Ltd.



中国
住化電子材料科技(無錫)有限公司



アメリカ
Valent BioSciences LLC

住友化学の国内拠点



東京本社



大阪本社



三沢工場



茨城工場



先端材料開発研究所（筑波）



千葉工場



健康・農業関連事業研究所（宝塚）



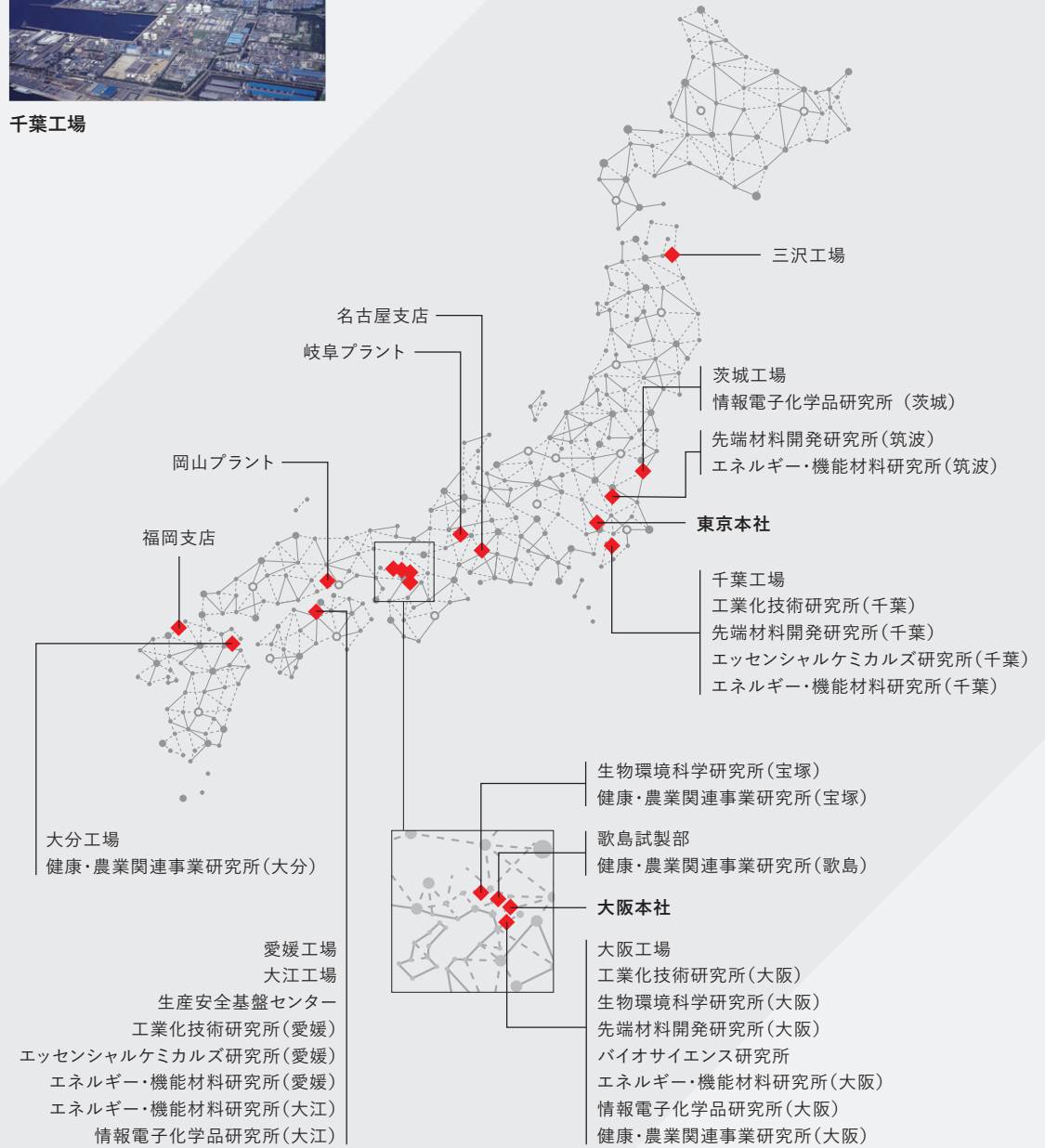
大阪工場



愛媛工場・大江工場



大分工場



CORE
COMPETENCE

3

エンゲージメントの高い 多様な人材

住友化学グループでは、世界中で3万人を超える従業員が活躍しています。エンゲージメント、つまり従業員の意識と事業活動のつながり度が高いこと、そして人材のバックグラウンドが多様であることは、当社の大きな強みの一つとなっています。



企業理念の浸透「住友化学グループ・グローバルプロジェクト」

住友化学グループでは、サステナビリティ推進を加速していくために、全役職員一人一人が企業理念を共有し、サステナビリティに関する理解を深め、グループ一体となって取り組みを進めていくことが重要であると考えています。こうした全員参加を促進する取り組みとして2014年から「グローバルプロジェクト*」を実施しています。

*「グローバルプロジェクト」は、2023年度から「自利利他 ACTION」と名称を変更しました。

2022年度の取り組み

専用サイトに「思い描く未来」を投稿し、世界中からの投稿でモザイクアートを完成させました。

参加会社数

投稿

103社 6,881件



グループ社員による投稿



完成したモザイクアート

人材

企業の競争力の大きな源泉は「人」であり、人材の確保・育成は当社の将来の価値創造に向けた重要課題です。住友化学は最重要の経営資源と考えている人材の確保と育成を長期的な視点で推進するとともに、エンゲージメントの強化を通じて、当社グループの持続的成長を実現します。

DE&I

経営として取り組む重要課題の一つとして「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)」を掲げ、男女共同参画を推進しています。

課長相当職以上の
女性社員の割合(単体)

9.5%

(2023年4月1日現在)

男性社員の
育休取得率(単体)

77.4%*

(2022年度)

*育児・介護休業法にもとづく
算出方法では104.7%

育成と成長

「育成と成長」を基本理念とする現行の人事制度を具現化すべく、段階的かつ目的に応じた研修体系を整え、意欲・能力のある全ての従業員の能力向上を進めています。

教育関連投資額(単体/2022年度)

実績

約35万円/年・人

目標

約30万円/年・人を継続

自己応募型研修プログラム受講率(単体/2022年度)

実績

24.6%

目標

2024年度までに全社員の50%以上が
自己応募型研修プログラムを受講する

デジタル人材の確保

DXを牽引するデジタル人材の全部門への配置を目標に、研究部門、製造部門、事業部門、本社部門のそれぞれの業務領域においてデジタル人材の育成に取り組んでいます。また、全従業員を対象にDXリテラシー教育を実施しています。

デジタル人材(単体)

研究開発・製造部門
2024年度累計目標

330名

事業・本社部門
2024年度累計目標

250名

DX戦略

住友化学はデジタル革新を通じ、イノベティブな人材、高いアジリティを持つ組織風土を作り出し、お客さまへ新しい価値を提供します。

継続 DX戦略1.0

デジタル4領域*の生産性向上

生産性向上の取り組み継続、成果実現

*研究開発、プラント、サプライチェーン マネジメント、オフィス

注力 DX戦略2.0

既存事業の競争力確保

顧客接点強化・満足度向上に着目した
データドリブン経営による事業の競争力強化

始動 DX戦略3.0

新たなビジネスモデルの実現

コア技術/サービス/データを活かした新たな
ビジネスモデルの実現

事業部門紹介

エッセンシャルケミカルズ、エネルギー・機能材料、情報電子化学、健康・農業関連事業、医薬品。私たち住友化学は、これら5つの事業分野にわたり、幅広い産業や人々の暮らしを支える製品をグローバルに供給しています。



エッセンシャルケミカルズ部門

基礎原料事業部／工業化学品事業部／樹脂関連事業開発部／ポリオレフィン事業部／自動車材事業部／MMA事業部

日本・サウジアラビア・シンガポールに製造拠点を有し、それぞれの拠点の強みを活かして、ポリエチレン、ポリプロピレン、メタクリル樹脂などの合成樹脂や、合成繊維原料、各種工業薬品などを製造し、顧客の幅広いニーズに応え、さまざまな産業の礎となる化学製品を提供しています。



プロピレンオキシドを原料として作られたクッション材を使用する自動車シート



ポリプロピレンで作られた自動車のインストルメントパネル



ポリエチレンを用いて作られたさまざまな製品



メタクリル樹脂を用いて作られた水族館の大型水槽



住友化学の技術(プロピレンオキシド)をライセンス供与したタイの工場

エネルギー・機能材料部門

無機材料事業部／化成品事業部／機能樹脂事業部／電池部材事業部

省エネルギー製品に使用されるアルミナ等無機材料、高性能な高分子添加剤、電子部品・次世代自動車に用いられるスーパーエンジニアリングプラスチックやリチウムイオン二次電池用部材など、環境負荷低減や省資源・省エネルギーに貢献する機能化学品を幅広く提供しています。



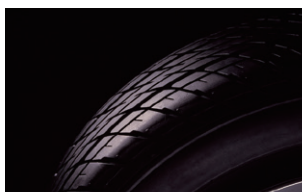
アルミナ粉末とアルミナを使用した製品



アルミニウム地金



レゾルシン



合成ゴムで作られた自動車タイヤ



スーパーエンジニアリングプラスチック



セバレータ「ベルヴィオ®」

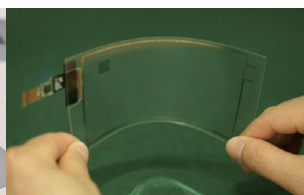
情報電子化学部門

光学製品事業部／電子材料事業部／サイオクス事業部

液晶や有機ELのディスプレイに使われる光学機能性フィルム、タッチセンサーパネル、カラーレジスト、高分子有機EL材料。半導体製造工程で使われるフォトレジストや高純度薬品。そして通信端末のアンテナスイッチなどに使われる化合物半導体材料。IoT時代を支える製品を幅広く供給しています。



偏光フィルム「スミカラン®」



タッチセンサーパネル



カラーレジスト「ダイブライト®」



高分子有機ELインク



フォトレジスト「スミレジスト®」



化合物半導体材料

健康・農業関連事業部門

アグロ事業部／国際アグロ事業部／生活環境事業部／
アニマルニュートリション事業部／ファーマソリューション事業部

農作物の安定的な供給、世界の人口増加に対応するための食糧増産、感染症の蔓延防止、衛生的で健康な生活の実現などに貢献するため、農薬や肥料、飼料添加物のほか、家庭用殺虫剤、感染症対策製品、医薬品原薬・中間体などを製造・販売しています。



農業用殺虫剤や除草剤などの
各種農業関連製品



家庭用殺虫剤原体等



マラリア予防用長期残効型防虫蚊帳
「オリセット®プラス」



飼料添加物DL-メチオニン、
メチオニンヒドロキシアナログ



医薬品原薬

医薬品部門

住友化学の医薬品事業は、高度な有機合成技術を基盤に、1935年、原料から一貫生産する近代的医薬品工場を建設したことに始まります。現在は医療用医薬品事業を中心とする住友ファーマ株式会社と、放射性医薬品事業を中心とする日本メジフィジックス株式会社の両社を軸に事業を展開しています。

住友ファーマ株式会社



医薬品の研究

日本メジフィジックス株式会社



PET検査用放射性医薬品の製造

住友化学グループのサステナビリティ

住友化学グループは、サステナビリティの推進を「事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を実現する」と定義しています。これは、住友の事業精神の一つである「自利利他 公私一如」に基づく創業以来の考え方であり、サステナビリティの推進にあたっては、イノベーションを通じて、経済価値（自利）と社会価値（利他）を同時に創出すること、そして持続可能な開発目標SDGsの達成などの国際社会の重要課題の解決に貢献することを目指しています。

外部評価（ESG関連）

ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字です。ESG関連で当社が受けた主な外部評価を紹介します。



CDP「気候変動Aリスト2022」
「水セキュリティAリスト2022」



2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

健康経営優良法人2023
～ホワイト500～ 認定



エコバディス
サステナビリティ調査
「ゴールド」評価

住友化学株式会社

会社名 住友化学株式会社(2004年10月1日商号変更)
創業 1913年9月22日
営業開始 1915年10月4日
資本金 89,810百万円(2023年3月31日現在)



<https://www.sumitomo-chem.co.jp>



レスポンシブル・ケア

2307-T